



どろんこフラッグス



バレーボールで必死のブロック



スライダーで滑り降りる

どろだらけになって遊ぶ

どろんこフェスティバル

今年で4回目を迎えた、きよね夢てらす主催のどろんこフェスティバルが6月9日、清音小学校南側のほ場で行われました。

過去最高の好天の中、約350人がどろんこフラッグスやバレーボール、宝探しなどに汗を流しました。環太平洋大学の学生が企画した「親子DEどろんこ障害物レース」には、21組の親子が参加。会場では、「どろだらけになったけど、すごく楽しかった」、「来年も絶対参加したい」などの感想が聞かれ、たくさんの笑い声が響き渡りました。

ミニフォト

願い事かかないますように



上手に結べたかな

総社商工会館で6月14日、七夕飾りが行われました。飾り付けに訪れたのは、総社南幼稚園の5歳児30人。思い思いの願い事を書いた短冊や色紙で作った輪飾りなどの季節の風物詩で、来館者を楽しませていました。

和やかなメロディー



野球部員も友情出演

総社南高校吹奏楽部定期演奏会が5月25日、市民会館で開催されました。3部構成で全17曲を演奏。同校の野球部員も参加し、演奏に合わせて校歌を合唱するなど会場を盛り上げ、約650人の観客を沸かせました。

みんなで音楽に親しむ



演奏に聴き入る児童

5月26日、音楽・英語特区の新本小学校でくらしき作陽大学・作陽音楽短期大学の学生らを招いて、スクールコンサートが開催されました。児童や保護者、地域住民らは、「トルコ行進曲」など全9曲の演奏を楽しんでいました。

平田さん 100歳おめでとう



家族に祝福される平田さん

平田孝子さん（宍粟）が5月23日に満100歳の誕生日を迎えられ、6月6日に市から記念品が贈られました。料理が好きで、ばら寿司が得意だった平田さん。長寿の秘訣は、好き嫌いをなく何でも食べてきたことだそうです。

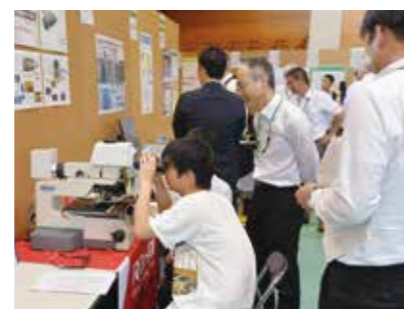
出原さん 100歳おめでとう



家族に祝福される出原さん

出原亀和子さん（井尻野）が5月10日に満100歳の誕生日を迎えられ、5月23日に市から記念品が贈られました。野菜や花を育てることや、編み物が好きだった出原さん。長寿の秘訣は、質素な食事をしてきたことだそうです。

研究の成果を発表



研究展示に見入る

5月29日、OPUフォーラム2019が県立大学で開催されました。研究してきた成果の展示などを行う発表会で、毎年開催。特別講演会や健康測定・体験コーナーもあり、来場者は県立大学をより身近に感じていました。

書の文化を大切に

高木聖鶴児童生徒競書大会表彰式

郷土の偉大な書家で名誉市民でもある故高木聖鶴さんを顕彰し、書の振興につなげようと始まった高木聖鶴児童生徒競書大会。その表彰式が5月19日、総社吉備路文化館で行われ、受賞者に賞状と記念品が贈られました。

市内の小中学生166人が参加。審査の結果、高木聖鶴賞、市長賞、教育長賞、審査員長高木聖雨賞にそれぞれ4作品と、特選23作品の計39点を選出されました。

審査員長の高木聖雨さんは、「低学年は書を楽しんでおり、高学年は力強さがあった。多くの小中学生が参加し、大会が継続して開催されることは大変うれしい」と講評しました。

主な受賞者は次のとおりです。【敬称略】

【高木聖鶴賞】

小野田悠人（常盤小2年）、岸本仁見（総社西小4年）、曾根心葉（総社中央小6年）、松尾美咲（総社東中3年）

【市長賞】

難波孝多（清音小1年）、小見山心寧（総社北小2年）、井上慶一（常盤小3年）、エバンスメイ（阿曾小5年）

【教育長賞】

山内花梨（総社北小3年）、河本ゆり（常盤小6年）、高谷和叶（大安寺中等教育学校2年）、加藤杏奈（総社西中2年）

【審査員長高木聖雨賞】

久山真央（総社小4年）、荒木咲弥（総社西小5年）、桜本ゆめの（総社小6年）、城内萌心（総社西中2年）



高木聖雨審査員長から表彰される児童



高木聖鶴賞、市長賞、教育長賞、審査員長高木聖雨賞の受賞者



地域に活気を



野菜や果物を品定め

5月19日、小さな道の駅池田で開店2周年記念大売り出しが行われました。地元で作った野菜や果物、米などを販売。先着150人に豚汁が振る舞われ、市内外から訪れた大勢の買い物客でにぎわいました。

初夏のコンサート



総社吹奏楽団の演奏会 Viva Brass 2019 が6月2日、市民会館で開催されました。58人の団員が全10曲を披露。ホールに広がる美しい吹奏楽の音色を奏で、訪れた約700人の観客を魅了しました。

ブドウの季節到来



息の合った演奏

甘くおいしく

マスカット・オブ・アレキサンドリアの授業が6月6日、秦小学校で行われました。きびじ農業後継者クラブが、地元の特産品を知ってもらおうと毎年開催。児童は、マスカットの歴史や育てる苦労に耳を傾けていました。